

# カーリットグループの4つのマテリアリティ(重要課題)

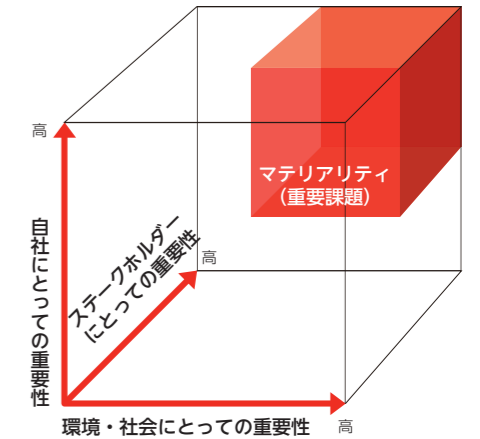
● 対応する社会課題 ● カーリットグループの取り組み

社会課題	カーリットグループの取り組み	対応するSDGs	関連する主なステークホルダー
<b>安心・安全で生き生きとした職場環境づくり</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員満足 (ES)</li> <li>人財教育、人財多様性の確保</li> <li>働き方改革への対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークライフバランスの推進</li> <li>メンタルヘルスチェックの実施</li> <li>職位別研修、自己啓発研修の実施</li> <li>女性・外国人従業員の活躍の機会創出</li> </ul>	1 貧困をなくそう, 4 質の高い教育をみんなに, 5 ジェンダー平等を實現しよう, 8 働きがいも経済成長も, 10 人や国の不平等をなくそう	従業員
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・衛生的な職場環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループリスクアセスメント委員会の設置</li> <li>改善提案、ヒヤリ・ハット・KY活動の実施</li> </ul>	8 働きがいも経済成長も, 12 つくる責任 つかう責任	従業員
<b>信頼性・透明性・収益性のある経営基盤の強化</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>重要事実の決定に関する信頼性確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取締役会の実効性評価の実施</li> <li>ガバナンス委員会の設置</li> <li>コーポレートガバナンスコードの改訂</li> </ul>	16 平和と公正をすべての人に, 17 パートナシップで目標を達成しよう	従業員
<ul style="list-style-type: none"> <li>法令等遵守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンス推進会議の設置</li> <li>コンプライアンス研修（独占禁止法・国家公務員倫理規定の遵守、ハラスメントの禁止）の定期的実施</li> <li>コンプライアンス遵守状況の定期的確認</li> <li>内部通報制度の定着化推進</li> </ul>	16 平和と公正をすべての人に, 17 パートナシップで目標を達成しよう	株主・機関投資家
<ul style="list-style-type: none"> <li>ステークホルダーとの積極的・建設的な対話の励行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェアディスクロージャールールに則した公正・公平なIR・PR活動の推進</li> <li>インナーコミュニケーションの醸成・活性化</li> </ul>	12 つくる責任 つかう責任, 16 平和と公正をすべての人に, 17 パートナシップで目標を達成しよう	従業員
<b>地域社会との共生</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域社会の持続的発展への貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同体の一員としてのあるべき姿の維持・探求</li> <li>雇用機会の創出</li> <li>清掃活動への参加</li> <li>地域社会のニーズに合致した寄付</li> </ul>	4 質の高い教育をみんなに, 11 住み続けられるまちづくりを, 15 陸の豊かさも守ろう	地域社会
<b>豊かな社会創造への貢献</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・防災</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衛星打ち上げのためのロケット推進薬原料製造・推進薬開発</li> <li>緊急保安炎筒製造</li> <li>光学レンズ材料開発</li> <li>上下水道施設構造設計</li> </ul>	3 すべての人に健康と福祉を, 6 安全な水とトイレを世界中に, 9 産業と技術革新の基盤をつくろう, 14 海の豊かさも守ろう	従業員
<ul style="list-style-type: none"> <li>環境・エネルギー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水力発電や太陽光発電などのクリーンエネルギーの活用</li> <li>LiB受託評価試験による低炭素社会実現への貢献</li> <li>環境影響評価を採り入れたレスポンスブルケアの推進</li> </ul>	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに, 12 つくる責任 つかう責任, 13 気候変動に具体的な対策を	お客様
<ul style="list-style-type: none"> <li>食料・健康</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茶系飲料の製造</li> <li>パイオリファイナリー技術</li> <li>オーガニック栄養剤による安定的食物供給への寄与</li> </ul>	2 飢餓をゼロに, 15 陸の豊かさも守ろう	地域社会
<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の安全衛生の保護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>品質保証に関する認証規格の取得・維持</li> <li>5S活動</li> </ul>	12 つくる責任 つかう責任	地域社会

当社グループは、「社会が何を求めているか」、「社会の成長にどう寄与するか」といった当社にとっての課題を、事業活動を通じて解決することを使命とし、「モノづくり」を通じて「社会」と「会社」の持続性ある相互成長の関係を築き上げていくように努めています。

その実現のために、数ある社会的に影響のある項目について、ステークホルダーにとっての重要性、自社にとっての重要性、環境・社会にとっての重要性という3つの視点から、新たに「マテリアリティ」(重要課題)を特定しました。

マテリアリティ図



持続可能な社会へ